

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	017053700		
法人名	北海ケアサービス株式会社		
事業所名	グループホーム 北海ハウス二番館		
所在地	札幌市白石区北郷8条3丁目6番30号		
自己評価作成日	平成26年12月2日	評価結果市町村受理日	平成27年1月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日本家屋調の落ち着いた雰囲気の中風作りの建物です。今までの生活の延長になる様に、特別なレクリエーションは日課に組まず、食事以外の時間は各々好きな様にゆったりと生活しています。中でも様々な提案をしながら個々のできる力を活かした役割を担い、張りや楽しみのある暮らしができる様取り組んでいます。特に食べる事を楽しみにできる様、日々の献立もスタッフが栄養のバランスを考えて、なるべく多くの食材を使う様にし、目からも美味しく食べれる様に盛り付けにも気を配っています。また、お誕生会や季節の行事食にも力を入れています。いつまでも美味しく食べれる様、歯科医との連携もしっかり取っています。今年はスタッフの欠員が続いており、1F・2Fが協力をしてどちらのフロアも対応できる様な取り組みを現在進行中です。経験の浅いスタッフが多いので、人材の育成も大きな課題となっています。「笑顔で 明るく やさしく」仕事に取り組める様な環境作りを日々心掛けています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kan=true&JigrosyoCd=0170503700-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成26年12月15日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム 北海ハウス二番館」の近くには公園や大型ショッピングセンターなどがあり、利用者は日常的に散歩や買い物に出かけている。2階建ての建物は和風造りで玄関風除室から中庭に出て日光浴も楽しめる。2ユニットの共用空間は木目調の落ち着いた雰囲気、絵画や装飾などを品よく飾り、職員手づくりの装飾で家庭的な環境を提供している。1年前に就任した管理者は利用者の安心した暮らしを支え、また安定した運営に向けて各ユニットのリーダーや職員と一体となって熱心に取り組んでいる。法人間の管理者と情報を交換し、今までの取り組みを活かしながら、新たな視点で業務やケアを工夫している。各ユニットに調理専門の職員を配属し、日勤の職員が集中的にケアに関わるように業務を分担している。管理者と職員はその都度必要なケアを検討し、職員が作成した「ケア表」を基にモニタリングを詳細に見直して介護計画を作成している。散歩や買い物など利用者の個々の希望を可能な限り実現できるように支援している。調理専門の職員が利用者の好みを聞いて献立を作成し、食材を豊富に取り入れれたり、食器を選んで彩り良く盛り付けて、豊かな食事を提供している。

V. サービスの成果に関する項目(ききょうアウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ききょう)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔で、明るく、やさしく」を理念にあげ、家庭的な環境の下で、利用者が理念通りに暮らせる様実践している。	法人共通の理念を職員採用時に説明し、利用者とのコミュニケーションを大事にケアを実践している。利用者の状態に即した適切なケア理念を各ユニットで話し合ったが、実現までには至っていない。	理念の精神に沿い、住民と交流する地域密着型サービスの文言を含めた事業所独自のケア目標などの作成を期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外出時には挨拶を交わしたり、会話をしたりする。地域の行事がある時は参加させてもらっている。ホームの行事の際にはボランティアの参加依頼を行っている。	町内会の夏祭りに出かけ、出店で飲食したり催し物を楽しんでいる。敬老会や誕生会には、ボランティア訪問でのサクソ演奏を聴く機会もある。近くにある保育園や小・中学校との関わりを、時期を見て働きかけたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、地域の方々に知ってもらう様努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では状況を伝え、更なるサービスの向上に活かせる様、意見交換をしている。	2か月ごとの会議で運営状況、避難訓練実施、外部評価結果などの報告を中心に行っている。町内会関係者の参加率は高いが、家族1名の会議も見られる。全家族に会議案内と議事録を送付している。	会議案内にテーマを記載し、家族の意見収集や会議内容に関心が高まるような工夫を期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	担当者の方とお互いに連絡を取り合い、相談や情報交換をしながら協力関係を築く様取り組んでいる。	書類で分からない時は電話で相談し、郵送で提出している。必要な時は市に出向いて、直接担当者に渡すこともある。生活保護課担当者の来訪時には利用者の情報を交換し、連絡を密にしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員間で話し合い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。どうしても危険回避の為必要な場合はご家族と相談して文章で確認しあっている。玄関の施錠は、立地的な理由でクリアできていない。	身体拘束廃止のマニュアルを作成しているが、「禁止の対象となる具体的な行為」が明記されていない。今年は勉強会が持てず、日々事例を基に拘束について確認している。禁止語や上から目線の言葉遣いには注意している。安全面から玄関を施錠しているが、夏季には風通しも兼ねて、開放する時間もある。	「禁止の対象となる具体的な行為」の11項目をマニュアルに追加し、職員が正しく理解できるように勉強会などで確認する機会を期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今年度は慢性的な人員不足で外部研修への参加はできていないが、職員は虐待に対しての知識を持ち、入居者の小さな変化も見逃さない様、全員で注意を払い、虐待防止のケアに取り組んでいる。		

グループホーム 北海ハウス二番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ききょう)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員が学ぶ機会はなかなか持てずにいるが、必要性があれば関係者と話し合い、活用できる様支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	解りやすい言葉で説明し、不安な事や疑問点には何度でも説明をし、理解・納得して頂ける様努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者とは、出来るだけスタッフ1人1人がコミュニケーションの場を作り、日常的に意見・要望を汲み取る様に努力している。ご家族とは、電話や来所時に意見や要望を求め、運営に反映させている。	運営推進会議案内に本人の様子を書き添え、2か月毎の広報で報告している。遠方の家族には電話連絡をした際に意向を聞いている。家族の来訪が少ないので、些細な意見を収集できるような家族アンケートの必要性も考えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見を言いやすい環境作りにも努めている。	今年は業務などの煩雑で会議を持てなかったが、その都度ケアについて話し合っている。業務改善や備品調達を検討したり、職員の資格取得も積極的に支援している。職員は各担当を受け持ち運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得の支援や外部研修への参加を行い、各自が向上心を持って働ける様な環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員各自の力量を把握し、力量に応じた研修への参加を促し、ケアの助言をしながら育成に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議や外部研修時に同業者との交流はあるが、相互訪問等の活動までは至っていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ききょう)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所1ヶ月はホームの生活に慣れる事を優先し、入居前の暮らしを取り入れ、安心して暮らせる様、不安や要望を聞きながら信頼関係を築く努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安や要望を聞きながら、ご家族がいつでも相談できる様な対応を心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にアセスメントを行い、本人・ご家族との面談でケアプランを作成し、必要な支援の見極めをしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭的な雰囲気作りを大切にし、入居者と共に支え合える関係作りを心掛けている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人・ご家族の気持ちを汲み取りながら、皆で協力し合い、入居者を支えていく関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力を得ながら、馴染みの関係が継続できる様な支援に努めている。	入居前に住んでいた地域に家族の協力で出かけた方もいる。電話を取り次いだり、CD・DVD販売店に職員が同行して趣味が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で楽しく過ごせる様に、職員が介入しながら入居者同士が楽しく暮らせる環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ききょう)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も必要に応じて相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望や意思の把握に努め、職員間でも常に検討している。	小樽方面に行きたい希望を検討し、職員の同行で実現している。発語が難しい場合は、表情や目をしっかり見て思いを把握している。センター方式のシートを活用し、見直し時に情報を蓄積している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	担当者を決め、アセスメントをしながら、常に経過の把握に努めている。職員間でも情報の共有をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや介護記録で情報を共有し、1人1人の状態把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常に状態を把握しながら職員間や必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	担当職員が作成した「ケア表」を参考に、3か月毎にモニタリング、評価を行い介護計画を作成している。今後は各ユニットで使用している書式の統一や書類の整備で、更に見直しに活かしたいと考えている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録やケア表を個別に記入し、気づきや工夫を話し合い、実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の希望に沿って他事業者のサービスを利用している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方の協力や、地域行事への参加を通じて、豊かな暮らしを楽しむ事ができる様に支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人とご家族の希望に沿いながら、協力も得て、Dr.とは文章での情報交換をしながら、かかりつけ医への受診を支援している。	2つの病院から希望の訪問診療を受けている。かかりつけ医の受診には、書面にして家族に渡し、主治医から指示票を得ている。内科以外の専門的な受診には職員が同行している。受診内容を支援経過の別紙で記録することを考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ききょう)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内の看護職員に相談して協力を得ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	月2回の往診時に情報交換や相談をして、常に協力を得られる体制になっている。電話での相談は24時間対応してもらえる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に、症状が進んだ時にどこまで対応できるかを説明して本人・ご家族と確認し、その後は都度関係医療機関とも相談しながら重篤化・終末期への支援に取り組んでいる。	利用開始時に「重度化した場合の対応方針」を説明し同意を得ている。「終末期及び生活支援に関する覚書」で家族の意向を聞き、医療行為が継続する場合は対応が難しいことも説明し了解を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故対応時のマニュアルの確認をし、職員全員が実践できる様努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や町内会の協力を得たり、自主的に避難訓練を定期的に行い、全職員が救助方法を身につけている様努めている。	今年は夜間を想定した自主訓練を3回行い、安全で敏速な避難誘導を確認している。年度末には消防署立会いで夜間想定避難訓練を予定している。地震などは今後の課題になっている。職員の救急救命訓練の受講は継続中である。	消防署立会いで行う火災避難訓練には町内会役員や近隣住民の役割を明確にした参加の依頼を期待したい。地震などの想定で事業所内で安全面やケア別の対応などを確認し、また災害備蓄品類の整備にも期待したい。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者本位、尊厳の保持を心掛けた対応に努めている。	新人研修で、言葉かけや対応について指導している。トイレ内のバット類は、見えないように目隠しをしている。申し送り時は名前が特定できないように配慮し、個人記録類も適切に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中より本人の希望を汲み取る様努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位を心掛けており、個々のペースに合わせた生活ができる様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の好みを把握し、季節や場所に合った身だしなみやおしゃれができる様に支援している。		

グループホーム 北海ハウス二番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ききょう)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの物を聞いてメニューの中に盛り込む様にしている。食材の下処理を一緒に行ったり、毎日使うトレ拭きを手伝ってもらったりしている。	調理専門の職員が献立を作成し、利用者と一緒に買い物に行くこともある。誕生日には本人の好きな献立にしたり、刻み食の方も、料理が分かるような工夫をして食事が楽しめるように配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各人が残さず食べる事ができる量で提供し、水分量は1日トータルで必要量が確保できる様に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の力に応じた口腔ケアを行っている。歯科医や衛生士の定期的な訪問時に情報を共有し、口腔内の清潔の保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄の状況を把握し、尊厳に配慮しながら自立に向けた支援を行っている。	夜間のみ、全員の排泄を記録している。声かけに配慮しながら、昼夜共にトイレでの排泄を支援している。身体状況に応じ、日中は二人介助で支援したり、立位が取れない方はおむつ交換で対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じた、飲食物の工夫や水分量の確保に努め便秘の予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者の希望に沿った支援を行う様努めている。	毎日午後の時間帯で、各利用者が週2~3回入浴できるように支援している。立位が難しい場合は、シャワー浴で対応している。入浴を嫌がる時は、声かけの時間や職員が交代することで、定期的な入浴ができています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のその日の状態に合わせて、ゆったり過ごせる様、また夜間は安眠できる様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各人の病気や病状を職員が把握したうえで服薬の支援をし、変化を見逃す事がない様努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中で、個々の力や生活歴を活かした役割を担い、暖かい時期は散歩に出たり、職員介入の元、他者とゲームを楽しんだり、張りや楽しみのある生活が送れる様支援している。		

グループホーム 北海ハウス二番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ききょう)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の体調に配慮し、本人の希望を把握し、ご家族の協力も得ながら外出計画を立てて支援している。	日々の散歩は、殆ど個別支援で近くの公園に出かけたり、近隣のお宅の庭や畑を見せて頂いている。利用者の歩行状態により、中庭で日光浴や散歩をすることもある。個別に、ホームセンターや大型ショッピングセンターへの買い物、外食などに出かけることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の希望や、ご家族と相談してお金の所持や使う事を支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望により支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔を心掛け、場所がわかり易い様な表示を行い、季節感に配慮した飾りつけ等をして、居心地良く過ごせる様な空間作りに努めている。	建物内も木目調の和風造りで、扉は格子柄になっている。明るい光が注いでいる広々とした居間兼食堂の出窓には、テレビや鉢植えの花、観葉植物が置かれている。玄関や廊下、居間などの壁には絵画が飾られており、温もりのある家庭的な雰囲気になっている。季節感のある、クリスマスツリーやリースなども飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食席の配置に配慮したり、ソファの位置も状況に応じて移動し、共用空間の中でも思い思いに過ごせる様な工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時より、馴染みの暮らしを損なわない様に、使い慣れた家具や好みの物を持ち込んでいただき、居心地良く過ごせる様に工夫している。	各居室に、電動ベッドが備え付けてある。使い慣れたダンスやCDプレーヤー、趣味の楽器などを持ち込んだり、カレンダーやぬり絵などの作品を壁に飾り、その人らしい居室になっている。冬季は、濡れタオルなどを利用して湿度にも配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の能力に応じた自立支援を行い、安全に配慮した環境作りを心掛けている。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	017053700		
法人名	北海ケアサービス株式会社		
事業所名	グループホーム 北海ハウス二番館		
所在地	札幌市白石区北郷8条3丁目6番30号		
自己評価作成日	平成26年12月1日	評価結果市町村受理日	平成27年1月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「ききょう ユニット」に同じ

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kan=true&JigrosyoCd=0170503700-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成26年12月15日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(すみれアウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価 (すみれ)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔で、明るく、やさしく」を理念にあげ、家庭的な環境の下で暮らせる様に支援している。各フロア毎の理念を作る予定だったがまだできていない。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外出時には挨拶を交わしたり、地域の行事に参加している。行事の時は、ボランティアの協力も得ている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	道を歩いている、近所の方に認知症について聞かれる事がある。その場合はわかり易く返答する様に心掛けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、近況や取り組みを報告し、質疑応答を繰り返しながらサービスの向上に努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	担当の方と情報交換をしたり、相談をしながら協力関係を築く様努めている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員間で話し合いをして身体拘束をしないケアに取り組んでいる。施錠は立地条件上クリアできていない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修等で学ぶ機会はなかなか持てずにいるが、職員は虐待に対して知識を持ち、それぞれが身体の小さな変化も見逃さず、虐待の防止に努めている。		

グループホーム 北海ハウス二番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価（すみれ）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員が学ぶ機会はなかなか持てずにいるが、必要性がある場合は関係者と話し合い、活用できる様支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に説明を行っている。入居後も質問があれば対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見や要望は、日常のコミュニケーションの中で汲み取る様努めている。ご家族とは、意見箱の設置や、来所時や電話でお話する機会を持ち、その都度運営に反映させる様努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見や提案は相互に行い、できる限り反映させる様努力している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得の支援や、外部研修への参加を行い、各自が向上心を持って働ける様な環境や条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	それぞれの力量に応じた研修への参加を促したり、日々の業務の中でアドバイスをしながら、職員を育てる取り組みを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議や外部研修時に同業者との交流はあるが、相互訪問等の活動まではいたっていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価（すみれ）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居1ヶ月はホームの生活に慣れる事を優先し、生活をしていく中で不安や要望を聞き、コミュニケーションを取りながら信頼関係を築く様努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	都度説明、対応を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話し合いを行い、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に支え合える関係を築く様努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	共に情報交換をし、双方から本人を支えていく関係を築く様に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族と協力をしながら関係継続の支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席配置等に気を使って行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価（すみれ）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退後も必要に応じて相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人及びスタッフ同士の意見交換で把握する様努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	会話の中から把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録や申し送りで情報を共有し、それぞれの現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族、必要な関係者の意見やアイデアを反映し、最終的には何が本人にとって一番良いのかを判断して介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・ケア表を個別に記入し、職員間で情報を共有しながら日々のケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の状況や希望に応じて、柔軟な支援やサービスの多機能化に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くのスーパーへの買い物や、地域行事への参加を通じて季節を感じたり、ホーム以外の人と触れ合う事で、豊かな暮らしを楽しむ事ができる様支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診にて対応。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価（すみれ）		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	特変時のみ相談。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診時の報告・相談、24時間電話対応にて行っている。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時にはここで出来る事を説明して、本人・ご家族と確認し、その後は都度関係医療機関とも相談しながら重度化・終末期への支援に取り組んでいる。			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故対応のマニュアルを作成し、確認しながら手順や対応を身につける様努めている。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自主的な避難訓練を定期的に行い、その他消防署や町内会の協力も得て、全職員が避難の方法を身につける様努めている。			
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	行っている。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話の中で引き出したり、選択肢を狭める等で自己決定出来る様な働きかけをしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを把握し、その日の状態や希望に沿って過ごせる様に支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	それぞれの好みを把握し、季節や場所にあったその人らしいおしゃれが出来る様に支援している。			

グループホーム 北海ハウス二番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価（すみれ）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べやすい大きさ・固さの調整、盛り付け等も工夫している。一緒に食事を作ったり、下膳やお盆拭き等もやっている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事量チェックを行い、支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	食事の前後や、行動をみて誘導している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や野菜の摂取等進めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	時間帯は決めてしまっているが、それぞれの希望やその日の状態を見ながら気持ちよく、楽しく入浴できる様支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	それぞれの服薬状況を把握し、正しく服薬できる様に支援し、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞・週刊誌等の提供、洗濯たみ等を行っている。		

グループホーム 北海ハウス二番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価（すみれ）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	慢性的な人員不足でなかなか思うように外出の機会を持たずにいるが、本人の希望で近くに買い物に出かけたり、ご家族の対応での外出時には支援を行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望があればその都度対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	鉢花等を置いている。温度の調整は行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座席配置等により工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今迄使用していた筆筒や身のまわりの品々等を家族と共に配置している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所の表示や個人の持ち物に名前を記名する等して、個々の能力に応じた自立支援を目指している。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム 北海ハウス二番館

作成日：平成 27年 1月 6日

市町村受理日：平成 27年 1月 7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人共通の理念はあるが、地域密着型サービスの意義を踏まえたものではなく、理念の精神に沿った住民と交流する地域密着型サービスの文言を含めた事業所独自のケア目標の作成。	「笑顔で 明るく やさしく」利用者に接しながら、ホームの中だけで留まらず、地域との交流も深めていける様な事業所独自のケア目標を作成する。	近隣の保育園・小中学校に働きかけ、子供達とのふれあいや、町内会の行事への参加を通して地域の方との交流を深めていける様な取り組みを行っていく。	1年
2	4	運営推進会議に家族の出席率が悪いので、それを高める為の取り組みをしていく。	運営推進会議が、ただの報告会になってしまわぬ様、会議内容に関心が高まるような工夫をして、そこでの話し合いをサービスの向上に繋げていく。	日時の設定の見直し、案内文の内容の検討・会議の度にテーマを設定して、参加できなくても家族の意見が聞ける様な取り組みを行っていく。	1年
3	6	身体拘束廃止のマニュアルはあるが、具体的な行為の明記がない為、「禁止の対象となる具体的な行為」の11項目をマニュアルに追加して、全職員が正しく理解する。	全職員が「禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解して、身体拘束をしないケアを日々実践していく。	「禁止の対象となる具体的な行為」の11項目をマニュアルに追加し、全職員が正しく理解できるよう社内の勉強会の開催を行い、拘束のないケアの意識を高めていく。	3ヶ月
4	35	夜間を想定した自主訓練は定期的に行い、身につけてきているが、年度末に予定している消防署立会いで行う避難訓練では、町内会や近隣住民の役割を明確にした参加の依頼を行っていく。	全職員が安全で敏速な避難誘導ができる様身につけていく事と、地域との協力体制を、役割を明確にしてより実践に活かせる様に取り組んでいく。また、火災以外の災害時の対応も明確にしておく。	年度末に予定している消防署立会いでの避難訓練時には町内会や近隣の住人にも役割を明確にした参加の依頼をし、協力を募る。火災以外の災害時の対応も具体的に取り決めをする。災害備蓄品の整備について、本部と相談する。	3ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。